

・下表は スtockマネジメント計画書内2ページにある「3. リスク評価」 ポンプ場のリスク評価手法より、発生確率のランクと、被害規模（影響度）のランクの25から22をリスクの高い順に並び変えたものになります。また、維持管理状況により健全度が悪化し、早期の更新が必要となった設備を追加しています。

・第2期計画では、下表の設備から優先順位を設定し、事業費内で実施できる範囲を赤枠で囲っています。また、赤枠の破線内も事業を予定していましたが、施設の統合により、同事業を高石ポンプ場内で実施する予定です。なお、下表以外の設備についても、事業に関係する設備は更新を実施します。

グループ名	設置年	リスク評価	第1期SM計画判定	理由 (下欄参照)	工事計画時期 ()内は工事済	備考
羽衣P_監視制御設備	1985	25	一部対策必要	②	(H30-R1,R3-R4) R8-R9 ,R14-R15	H30-R1以降の工事にて更新した設備は新監視盤へ移行、全機能の対策完了はR21を予定
羽衣P_スクリーンかす設備(雨水) 4	1985	24	対策必要	②	R18-R19工事	
羽衣P_制御電源設備(1985)	1985	24	—	④	(H30-R1,R3-R4) R8-R9 ,R14-R15	
羽衣P_計測設備	1985	24	一部対策必要	②	(H30-R1,R3-R4) R8-R9 ,R14-R15	
羽衣P_遠方監視制御設備(高師浜)	1993	24	—	②	—	高石ポンプ場へ統合予定
高石P_汚水ポンプ設備	1984	24	対策必要	①	(R5-R6工事)	
高石P_消毒設備1	1989	24	—	④	R13-R14工事	休止中
高師浜中継P_制御用電源	1993	24	対策必要	①	—	高石ポンプ場へ統合予定 第1期で改築対象に位置付け(先送り)
羽衣P_雨水ポンプ設備1	1984	23	一部対策必要	②	R14-R15工事	
羽衣P_雨水ポンプ設備5	1984	23	一部対策必要	②	R14-R15工事	
羽衣P_負荷・監視制御設備(雨水ポンプ)	1985	23	—	②	R14-R15工事	
羽衣P_負荷・監視制御設備(1985雨水沈砂池)	1985	23	—	②	R14-R15工事	
高石P_スクリーンかす設備1	1987	23	対策必要	②	R13-R14工事	
高石P_受変電設備2	1973	23	対策必要	②		定期的な点検整備にて機能を維持しているが、今後状態に応じて改築対象に位置付けを行う
高石P_蓄電池設備	1996	23	対策必要	②	(R5-R6工事)	
羽衣P_スクリーンかす設備(雨水) 3	1993	22	対策必要	②	R18-R19工事	
高石P_汚水沈砂池設備2	1996	22	対策必要	②	R13-R14工事	
高石P_雨水ポンプ設備1	1980	22	一部対策必要	②		
高石P_雨水ポンプ設備2	1972	22	一部対策必要	②		
高石P_雨水ポンプ設備5	1984	22	一部対策必要	②		
高石P_ゲート設備2	1971	22	一部対策必要	②	R13-R14工事	
高師浜中継P_スクリーンかす設備	1993	22	対策必要	①	—	高石ポンプ場へ統合予定 第1期で改築対象に位置付け(先送り)
高師浜中継P_汚水ポンプ設備1	1993	22	対策必要	①	—	
高石P_スクリーンかす設備(雨水) 3	1992	19	維持	③		
高石P_スクリーンかす設備(雨水) 4	1995	19	維持	③		
高石P_スクリーンかす設備2	2005	18	維持	③		
高石P_スクリーンかす設備3	2003	20	維持	③		
高石P_汚水沈砂池設備1	1996	19	維持	③		

注釈:

- ①第1期計画に位置付けられていたが、先送りとなっている資産
 - ②第1期計画に位置付けられていないが既に調査済みの資産(対策必要あり)
 - ③市要望(第2期計画期間中に改築を想定)
 - ④改築不要
- 対策必要:グループ全体で改築が必要
一部対策必要:グループの一部資産が改築が必要との判定